

## 2.1 情報の種類 ～図書・雑誌・データベースとは～

皆さんは、本の探し方について図書館員に尋ねてみたことがありますか？  
その時に、この言葉を聞かなかったでしょうか？

「図書」 「雑誌」 「データベース」

何のことだか分かりますか？

よく分からなかった人、「図書」「雑誌」は何となく分かるけど「データベース」はちょっと・・・という人もいるのではないのでしょうか。

実は、この3つの言葉は、これからの説明でもよく出てくる重要な言葉です。皆さんもご存知のとおり、「図書」「雑誌」は図書館が数多く集めている「本」です。しかし、同じ「本」でありながら、この2つには大きな違いがあります。この違いを理解しておかないと、情報収集やレポート・卒論作成がうまくいきません。「データベース」は初めて耳にした人もいると思いますが、コンピュータで情報収集する際に今後よく使用していくものです。

この節では、図書館の中心的な資料である「図書」と「雑誌」、それと次節以降で詳しく触れていく「データベース」とは何か簡単に説明していきます。

### 2.1.1 「図書」と「雑誌」の違いについて

「図書」と「雑誌」の違いは下表のとおりです。

一目見ただけでは、かなり難しそうに思うかもしれませんが、心配はいりません。とりあえず覚えておいてほしいことは、この中の一部です。それは後ほど説明しますので、まずいちど表に目を通してください(重要なところには下線を引いています)。

2.1 情報の種類 ～図書・雑誌・データベースとは～

|  | 図書  | 雑誌  |
|--|---|---|
| 内容                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●それまでに定まった一定の研究成果をまとめた形で掲載</li> <li>●<u>専門分野の基礎知識をまとめたものもある</u></li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●<u>最新の研究成果や時事的な情報を掲載</u></li> <li>●内容は、論文の集合体という形をとっていて、著者はその論文ごとに異なる</li> </ul>  |
| 出版の形                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●その1冊のみの出版であることが多い。シリーズ(「～全集」のような形)として出版されても不定期の出版となる</li> <li>●1冊ごとに独自のタイトルが付くことが多い</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全て同一のタイトルが付けられる。<u>タイトルには、Journal、週刊、月刊、紀要、年報などの語が付いていることが多い</u></li> <li>●定期的に出版される(週ごと、月ごと・・・)。新しく出版されるごとに、<u>一連の続き番号(巻号という)が付けられる</u></li> <li>●出版の終わりを予定していない</li> </ul>                      |
| 引用・参考文献上での表記の違い<br>(第10章も参照してください)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●<u>出版社が記載されている</u></li> <li>●<u>ページ数が記載されていない場合がある</u></li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●<u>雑誌名が略名で書かれることもある</u>(法律時報 → 法時)<br/>(Journal of Biological Chemistry → J. Biol. Chem)</li> <li>●<u>巻号が記載されている(雑誌名のすぐ後に、ページ数とは異なる数字があれば、巻号である可能性が高い)</u></li> <li>●<u>出版社は記載されない</u></li> </ul> |
| 図書館での並べ方・所在について<br>(所在については第3章も参照してください) | <ul style="list-style-type: none"> <li>●<u>内容によって分類し、背ラベルを付けている</u></li> <li>●<u>背ラベルの番号順に並べている</u></li> <li>●本館では、1, 2, 3階閲覧室、1階西書庫にある</li> <li>●分館では、図書閲覧室、参考図書コーナー、1階集密書庫にある</li> <li>※場所の詳細は図書館員にお尋ねください</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●内容での分類は行っていない(背ラベルも付けていない)</li> <li>●<u>雑誌名のアルファベット順に並べている(和雑誌はローマ字読みに直す)</u></li> <li>●本館では、1階中央書庫、2階学習室、3, 4階積層書庫(教養雑誌はブラウジングコーナー)</li> <li>●分館では、雑誌閲覧室、書庫にある</li> </ul>                        |
| その他                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●辞書・事典(ことば・事柄等について解説した図書。「参考図書」ともいう)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「～大学紀要」も雑誌の仲間</li> </ul>  |

とりあえず覚えておいてほしいポイントは、

- 図書館では、「図書」と「雑誌」は別の資料として扱っていて、置いてある場所も並び順も異なっています。
- あるテーマについて調べる時、基礎知識は「図書」から、最新動向は「雑誌」から調べてみてください。
- 図書・雑誌の末尾には、「引用・参考文献一覧」という形でいろいろな資料が掲載されています。また、教員から読んでおくべき資料のリストを渡されることもあるでしょう。その資料が「図書」なのか「雑誌」なのか判別できるようにしてください(判別の基準は表の下線部分を参照してください)。

### 2.1.2 「データベース」について

「データベース」とは、ごく簡単に言うと

ある特定の情報を編集・加工して、コンピュータでの検索を容易にしたもの

注)「ある特定の情報」には、商業情報などさまざまな内容がありますが、大学で利用できるものは、主に学術情報です。本書では、「学術情報を検索できるデータベース」を単に「データベース」と呼ぶこととします。

となります。しかし、これではまだよく分からないのではないのでしょうか。詳細は第4章で説明しますが、例えば「〇〇について調べたい。それに関する論文はどの雑誌の何ページに掲載されたか」を調べたい時、コンピュータからデータベースを調べることで掲載された論文が分かる、といった具合です。

「それは、インターネットと同じじゃないの?」

そう思われた人もいると思います。

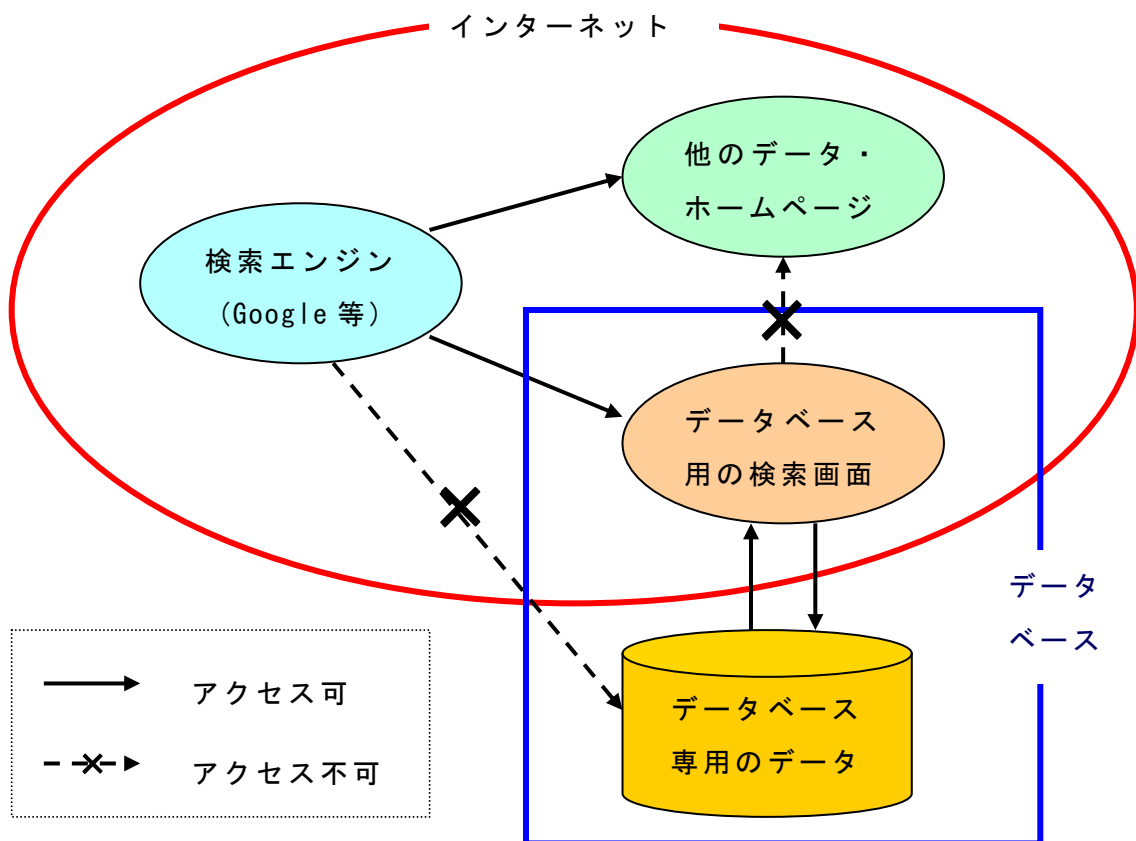
実際に操作してみると、確かに、インターネットを利用し、ブラウザから画面が表示されるので、まるでインターネットそのものに見えます。

しかし、実はデータベースとは(一部インターネットの仕組みを利用しているところはありますが)、インターネットとは別のものです。

なぜなら、

- 専用の検索画面を使用し、そこから専用のデータを調べる形になっています。このデータは検索エンジン(Google 等)からは調べられません。(データベースがインターネットと同じものに見えるのは、この「専用の検索画面」にアクセスするところまではインターネットを利用しているためです)
- 逆に、専用の検索画面からは、他のデータ・ホームページ等は調べられません。
- 契約しないとアクセスできないものがあります。

上記の説明を図にすると、以下のようになります。



図書館では「データベース」と「インターネット」とは別のツールとして扱っています。以後の説明でもそのようになっていますので、ご注意ください。